

まつやまの水道

この広報紙についてのお問い合わせ

松山市公営企業局
水道サービス課 広報担当
松山市二番町四丁目4番地6
TEL.(089) 998-9885
FAX.(089) 948-0727

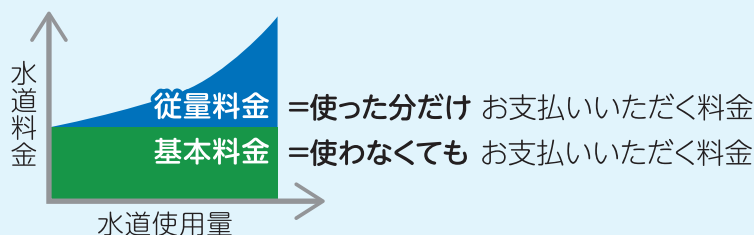


水道料金のしくみは、どのようになっているの？

教えて!! 水道料金 — 連載 —

最終回
 「水道料金のしくみ」
 第3回は、

水道料金は **基本料金** と **従量料金** の2つで構成されています



「基本料金」と「従量料金」の組み合わせによるものを『二部料金制』といい、全国のほとんどの水道局が採用しています。

基本料金は、なぜ必要なの？

いつでも水道を使用できる状態に保つためには、水道施設(浄水場・配水池・水道管など)を維持管理する費用がかかります。

この費用は、水道水を使用した水量にかかわらず、基本料金として定額で、お客さまにご負担いただいています。

従量料金の単価は、使用水量が増えとなぜ高くなるの？

水は限りある資源であるため、1㎡の単価は、使用水量が多くなるにつれて高くなるようになっています。

なお、特に1カ月あたりの使用水量が10㎡までの単価は、日常生活で使用する水道料金の負担が軽減されるよう、安く設定しています。

松山市の上水道料金表(1カ月分・税込)

(令和元年10月1日施行)

メーター口径	基本料金	従量料金(1㎡につき)						
		1㎡から10㎡までの分	10㎡を超え20㎡までの分	20㎡を超え30㎡までの分	30㎡を超え50㎡までの分	50㎡を超え100㎡までの分	100㎡を超え500㎡までの分	500㎡を超える分
13mm 20mm	785円	39円	162円	241円	267円	272円	278円	283円

※メーター口径25mm以上と公衆浴場用の記載は省略しています。

水道料金の計算例 2カ月で41㎡使用したとき(メーター口径13mm・20mmの場合)

2カ月に一度の検針のため、使用水量を **21㎡** と **20㎡** に分けて1カ月分ずつ計算します。

21㎡の計算

基本料金は、1カ月分で785円です。

従量料金の単価は、使用水量によって異なります。

まず、21㎡のうち、10㎡分は『1㎡から10㎡までの単価39円』で計算します。

次に、残り11㎡のうち、10㎡分は『10㎡を超え20㎡までの単価162円』で計算します。

最後に、残り1㎡分は『20㎡を超え30㎡までの単価241円』で計算します。

$$\begin{aligned}
 &785円① \\
 &39円 \times 10 = 390円② \\
 &162円 \times 10 = 1,620円③ \\
 &241円 \times 1 = 241円④ \\
 &① + ② + ③ + ④ \quad \text{小計} 3,036円
 \end{aligned}$$

20㎡の計算

基本料金は、1カ月分で785円です。

従量料金の単価は、使用水量によって異なります。

まず、20㎡のうち、10㎡分は『1㎡から10㎡までの単価39円』で計算します。

最後に、残り10㎡分は『10㎡を超え20㎡までの単価162円』で計算します。

$$\begin{aligned}
 &785円⑤ \\
 &39円 \times 10 = 390円⑥ \\
 &162円 \times 10 = 1,620円⑦ \\
 &⑤ + ⑥ + ⑦ \quad \text{小計} 2,795円
 \end{aligned}$$

合計 **3,036円** + **2,795円** = **5,831円**(2カ月分)



道路下の深い所で水道工事を行っています

シールド工法で

大口径の水道管耐震化

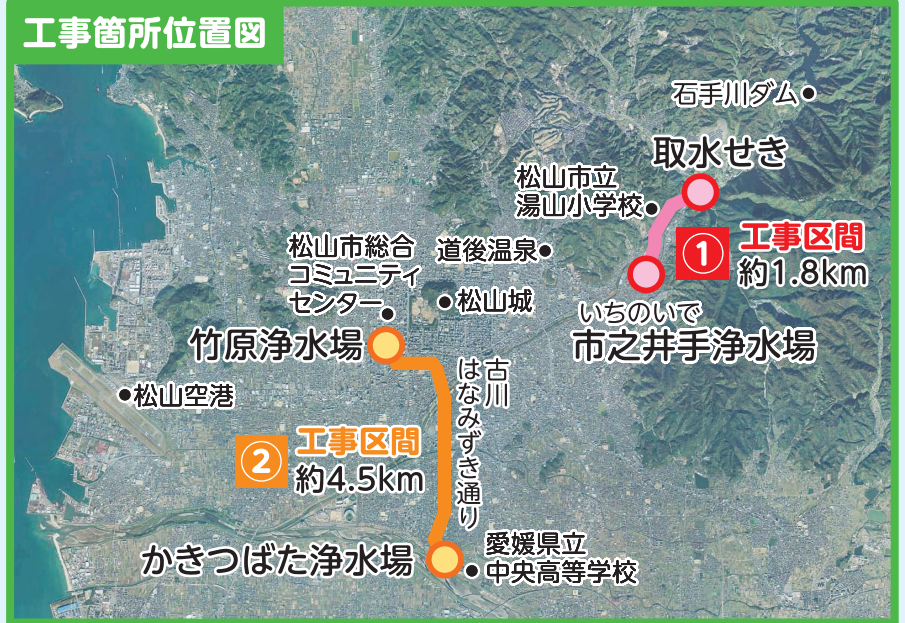
「東日本大震災」では、水道管のつなぎ手部分の破損などで、長期間の断水となり市民生活に大きな影響がでました。

松山市では、断水被害を少なくするために地震に強い水道管の耐震化を計画的に進めています。



水源から浄水場まで水を送る「**導水管**」や浄水場から配水池などに水道水を送る「**送水管**」など優先度の高いものから耐震化工事を行っています。

工事箇所位置図



① いちのいで 市之井手系導水管シールド工事

「石手川」の水を「取水せき」で取り入れて、「市之井手浄水場」まで、水を送る**直径1m20cm**の管(松山市の水道管で最大)の耐震化工事を行っています。

② 竹原送水管シールド工事

重信川周辺にある井戸から「地下水」をくみ上げ、「かきつばた浄水場」で水道水をつくった後「竹原浄水場」へ水道水を送る**直径70cm**の管の耐震化工事を行っています。

シールド工法ってなに？



トンネル工事のひとつで、「シールドマシン」の先端についでいる非常に硬い金属製のツメを回転させて土砂や岩盤を削り、削った部分が崩れないよう「セグメント(トンネルの外壁)」を組み立てながら少しずつ地中を掘り進めていく工法です。

この一連の作業を繰り返すことで、道路下の地中に長くて大きなトンネルをつくり、その中に水道管を設置することができます。

地上から直接地面を掘ることがないので、交通量の多い所での工事に適しています。

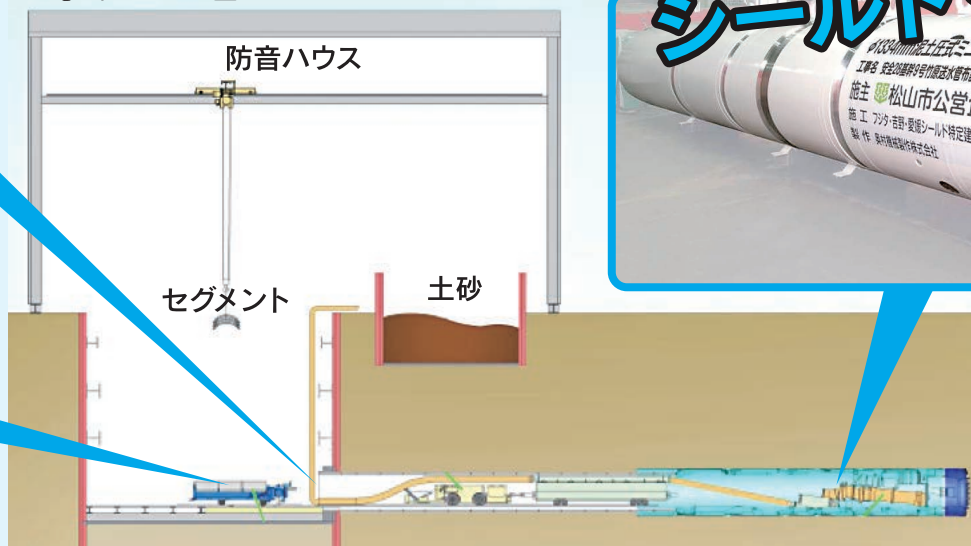
トンネル入口



セグメント運搬車



工事イメージ図



シールドマシン!

24時間体制で1日に約10m掘り進みます。固い岩盤では、掘り進むペースが遅くなります。